

令和6年度 学力向上プラン

学校名 中央小学校

学校の教育目標

・自分も人も大切にする子ども	…○ハートだ！	中央っ子！	(徳)
・よく考え行動する子ども	…○チャレンジだ！	中央っ子！	(知)
・心も身体も健康な子ども	…○ファイトだ！	中央っ子！	(体)

教育目標を達成するために学校として重点的に育成を目指す資質・能力（確かな学力向上にかかわる内容）

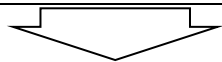
- ・各教科の「見方・考え方」を働かせ、主体的・対話的に学びに向かい、深い学びにつなげようとする資質・能力
- ・課題解決するために、学習用タブレット等の ICT 機器を活用し、表現・発信できる能力

令和6年度「学習力サポートテスト」や令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題及び要因

	児童の学力の課題	主な要因
国 語	令和6年度「学習力サポートテスト」の結果は、全国平均を上回っている。5学年で区の平均をわずかに下回ったが4学年と6学年は区の平均も上回り、どの学年でも目標値から5ポイント以上下回った内容はない。 目標値を達成しているが、他の学習内容と比べ、前学年時に習得した漢字の読み書きにおいて知識・技能の定着を高める必要がある。 総合的に見ると、活用と思考・判断・表現する力に課題がみられる。指定された長さで文章を書いたり、自分の考え等を明確に書いたり、内容を読み取ったりする領域で、思考・判断・表現する力を高めしていく必要がある。	・語彙力を高める表現活動の工夫が十分とはいえない。 ・自分の書いた文章を繰り返し読み直し分かりやすい表現になるように書き直す経験が十分とはいえない。 ・グループやクラス全体での話し合いや深め合う時間の設定が十分とはいえない。 ・作者や筆者の意図に応じて、話の内容を読み取る力が不十分である。
算 数	令和6年度「学習力サポートテスト」の結果はどの学年も全般的に全国・区平均を上回っている。 高学年では、小数の計算と作図の内容で目標値を5ポイント以上下回っているため、学習内容の定着を図る必要がある。引き続き、基礎基本の定着を徹底していく。 わり算、億と兆・がい数の表し方、作図、分数の計算、多角形と円と合同、において、目標値は達成しているが区平均より少し下回ったため、数と計算、図形の領域で、知識・技能をより高めることが必要である。 低学年では量の概念の定着を高める必要がある。	・考えを説明したり、記述して表したりすることに苦手意識をもつ児童もいる。 ・考えを深める時間や発表し深め合う時間の設定が十分とはいえない。 ・経験や体験したことを数学的な知識・理解につなげる活動が十分とはいえない。 ・知識・技能の定着のための前年度の学習内容を振り返ることが十分とはいえない。
社 会	令和6年度「学習力サポートテスト」の結果では、どの学年も全国・区平均を上回っている。 「地図の記号の読み取り」「安全なくらし」「くらしをささえる水」「工業」について興味・関心をもって学習に取り組む工夫を続け、学習内容の定着を図る必要がある。全般的に知識・技能の定着を図り、資料を読み取って思考・判断・表現する力を高める必要がある。	・知識を活用したり、資料を読み取り比較したりする時間や支援が十分とはいえない。 ・社会的な事象への興味・関心の低さが起因している。

理 科	令和6年度「学習力サポートテスト」の結果では、どの学年も全国の平均より上回った。4学年でわずかに区平均を下回ったが、5・6学年は昨年度よりの平均を上回った。 物のとけ方、電流のはたらき、けんぴ境の使い方、月と星、については区平均をすこし下回り、学習内容を定着させる必要がある。全般的に、興味・関心をもって学習に取り組む工夫を継続させ、基礎・基本の定着と推測したり説明したりする力を高めていく必要がある。	・植物や生き物に触れ合いながら観察する時間や実験の時間が十分とはいえない。 ・知識を活用したり、問題意識をもって情報に向き合ったりする、推測したり、説明したりする時間の設定が十分とはいえない。
英 語	どの学年も意欲的に学習に取り組んでいる。 中・高学年はコミュニケーションの楽しさとアルファベットを読んだり、書いたりする知識の習得のバランスをとりつつ国際理解教育と関連付けて主体的に学習に取り組むことが課題である。	・既習事項の繰り返し練習する学習が十分とはいえない。
体 育	意欲的に活動に取り組んでいる。マイスクールスポーツの全校一輪車活動にも意欲的で、1年生も徐々に乗れるようになってきている。 体力テストの結果では、低学年で握力、中学年で柔軟性、高学年で持久力を高めることが課題である。	・身体各部を使った様々な運動の経験が少ない。 ・運動量の確保が十分とはいえない。
学力向上に向けた視点		年度末までの目標及び指標
① 各教科	国語	指定された長さで文章を書いたり、自分の考え等を明確に書いたり、調べたことを文章にまとめたりする活動、話し手の伝えたい中心を捉える活動、話し合いの活動を充実させる。「書く」領域で今年度も平均点を上回れるようにする。
	算数	身に付いている学習意欲と学習内容の定着を維持できるようにする。グラフや表から読み取ったことを根拠に理由を書くことができるようにする。「数と計算」「図形」の領域で、知識・技能の定着を図り、今年度の平均点を上回るようにする。
	社会	「市のようす」、「安全な暮らし」、「生活環境を支える活動」「自然災害からくらしを守る」「工業生産」の領域について特に、主体的に取り組めるよう丁寧に学習を進め、内容の定着を図る。「令和7年度学習力サポートテスト」において、目標値を達成する。
	理科	引き続き、課題意識をもち、関心・意欲を高める導入の工夫を行い、「物のとけ方」、「電流のはたらき」、「けんぴ境の使い方」、「月と星」の内容については特に丁寧に学習を進める。「令和7年度学習力サポートテスト」において、目標値を達成する。
	英語	コミュニケーションの楽しさに加えて、アルファベットの理解について「令和7年度学習力サポートテスト」では令和6年度より上回れるようにする。
	体育	柔軟性や持久力、握力、俊敏性について、令和7年度の体力テストでは令和6年度より上回れるようにする。
② 授業改善		校内研究・OJTの充実を図り、日常的に教員同士で授業についての情報交換し、実践の中で授業改善に努める。学期末のテストにおいて、基礎・基本の学習の定着率90%以上を目指し、子どもたちが分かる授業を実践する。教科担任制を実施し授業改善につなげる。

③ 家庭との連携	「中央小家庭学習スタンダード(宿題)」を基に、継続的な家庭学習を促し、学習用タブレットを活用した繰り返し学習や個の実態に対応しながら100%の子どもたちが宿題に取り組むことができるようにする。
④ 体力向上	マイスクールスポーツの全校一輪車活動、なわとびの取組を通して、コーディネーショントレーニングを授業で継続的にを行い、体力の向上につながるようにする。



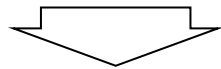
【目標達成のための具体的な取組内容】

① 各教科	
国語	・ 学習の目的や見通しをもつために、児童とともに学習計画を立てる。物語や説明文の内容等を指定された文字数で要約する活動をくり返し行っていく。 ・ 話し合い活動を充実させて考えを広げ、深められるようにする。 ・ 分かりやすい表現で文章を書くことができるような活動を行う。 ・ スピーチ活動の機会を充実させる。
算数	・ 自分の考えに根拠をもって友達に伝えられるように、じっくりと考えられる時間を設定する。 ・ 友達と考えを交流する活動を多く設定し、自分と異なる考えに触れさせる。具体物を活用し、体験したことを大事にし、絵や図、言葉を用いて説明する。 ・ 図など根拠に、式や考えの説明する機会を増やす。 ・ 基礎・基本と知識・技能の定着のための繰り返し学習をより充実させる。
社会	・ 「市のようす」、「安全な暮らし」、「生活環境を支える活動」「自然災害からくらしを守る」「工業生産」について、子供たちが意欲的に授業に取り組めるように、導入を工夫し、主体的な学習を充実させる。 ・ 資料を読み取って自分なりの考えをまとめたり、推測したり、説明したりする活動をより充実させる。 ・ 学習後に継続的に復習を行うようにする。
理科	・ 課題を解決するための実験方法を自分たちで考え、結果を導く活動を増やす。 ・ 授業の進め方を学校全体で統一する。問題→予想→実験方法→実験→結果→考察 の流れで行う。 ・ 推測したり考察したり説明したりする学習の場を充実させる。 ・ 学習後に継続的に復習を行うようにする。 ・ 朝学習で前年度の学習内容を振り返ることができるようにする。
英語	・ デジタル教科書の発音やチャンツなどを活用して基礎・基本を身に付けられるようにする。 ・ 高学年では、オンライン英会話教室による、ネイティブスピーカーとの英語によるコミュニケーション体験を通して会話体験を充実させる。 ・ 単元で学習する単語や表現を口に出して発音したり、ノートに書いたりするなど繰り返し学習を充実させる。 ・ 主体的に取り組めるよう、スピーキングテストの内容を日常会話に近付ける。
体育	・ 準備運動にストレッチ・持久走・固定遊具を使った様々な遊びなどを授業の最初に毎回行う。

	・ 単元のはじめにその単元の運動の基礎となる動きを指導する。
②授業改善	
取組Ⅰ	・ OJT を通して、子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現することができる指導法について研究する。 ・ 教科担任制の取組を通して授業改善を進める。
取組Ⅱ	・ 自己申告授業観察では、日頃の授業改善の成果に対する管理職からの指導・助言をさらに授業改善に生かしていく。 ・ 各教科の「見方・考え方」や授業についての教員同士の対話・紹介し合うことを重ねて、考え方や課題等を率直に話し合うことで、授業改善のポイントを自覚し指導技術の向上を図る。

③家庭との連携	
取組Ⅰ	・ 保護者会・学校公開、年 2 回実施する個人面談を中心に、教育活動について保護者の理解を求め、協力を依頼するとともに、学校と家庭が一体となり、子どもたちの成長を支援しようとする意識を醸成する。
取組Ⅱ	・ 「中央小家庭学習スタンダード(宿題)」を基に、復習だけでなく予習も取り入れた家庭学習（100%以上）ができるよう協力を求める。

④体力向上	
取組Ⅰ	・ 連続性のある運動量を確保できるような場の設定をする。また、準備運動ではコーディネーショントレーニング等、弾みや反動を使った動的なストレッチ等を継続的に行う。
取組Ⅱ	・ なわとび月間やマイスクールスポーツである全校一輪車活動を継続する。



【取組結果の検証】

学力向上に向けた視点		取組の成果	取組の課題及び解決策
① 学力基盤	国語	学習の見通しをもてるために、児童とともに学習計画を立てることで、意欲的に学習に取り組んだ。わかりやすい表現で文章を書く活動を継続したことで書くことに意欲的に取り組むようになってきている。	全学年時習得の漢字の定着は、チャレンジタイムを中心に継続的に行う。「書くこと」の領域では、指定された文字数で要約したり、分かりやすい表現で思いを書いたりすることを継続的に取り組んでいく。
	算数	3学期にはチャレンジタイムを中心に今年度の学習内容の復習を充実させることで、基礎・基本の定着を図ることができた。	高学年では、小数の計算と作図の内容に課題があるため、復習するとともに、来年度の学習指導を充実させていく。全般的には学習意欲の高さを継続していく。
	社会	3学期のチャレンジタイムを中心に今年度の学習内容の復習を充実させることで、特に・知識・技能の定着を図ることができた。導入を工夫することで、意欲的に学習に取り組む姿が多くなった。	社会的な事象への興味・関心を高めるために、体験的で探求的な学習、生活との関わりを感じながら学習に取り組むことができるような学習形態を工夫していく。
	理科	問題→予測→実験方法→実験→結果→考察という授業の流れで学習を進めることで、推測したり説明したりことに意欲的に取り組む姿が多くなった。	知識・技能の定着の図るために、チャレンジタイムや ICT を活用した復習を継続的に行っていく。
	英語	スピーキングテストの内容を日常会話に近づけることや、高学年のオンライン英会話教室の実施により、興味関心をもって意欲的に取り組むことができた。	コミュニケーションに楽しさと知識の習得のバランスをとりながら授業形態を工夫していく。
	体育	一輪車やなわとびを継続的に取り組むことで、巧緻性やリズム感、調整力等、体力向上につながった。ICT やワークシートの効果的な活用により、自分の課題を発見し、その課題解決のために主体的に学習に取り組むことができた。	児童の意欲を継続できるように、ICT やワークシートを効果的に活用することを継続していく。握力・柔軟性・持久力を高められるよう運動を継続的に取り入れていく。
② 授業改善		教科担任制を実践することで、児童理解だけでなく、授業改善することにつながった。OJT では、学級経営の工夫や教科指導のポイント等を交流することで指導技術を広げることにつながった。	引き続き、OJT を中心に教員間の学び合いを活性化させるとともに、教科担任制の実施により教科指導技術を深めていく。
③ 家庭との連携		個人面談で資料をもとに児童の様子を伝えたり、保護者会やクラスルームに学校便りや学年便りやお知らせ、明日の連絡等を載せたり、ホームページの更新を定期的に行ったりすることで学校の教育活動を発信することができた。家庭学習に対する協力の呼びかけを行い、家庭学習が定着しにくい児童へのフォローを行うことで児童の基礎学力の向上につながった。	学習用タブレットを効果的に活用し、教育活動の発信の仕方について工夫を継続し、家庭との連携をよりよくできるよう模索し、発信をしていく。家庭学習について「中央スタンダード」の定着を図る。家庭学習だけでなく、家庭との連絡を丁寧に行い、さらに信頼関係を構築していく。
④ 体力向上		一輪車活動を計画的に継続することで、体力向上だけでなく、助け合いや協力する姿勢へつながった。中央小学校体育学習年間指導計画をもとに、体育指導補助員と連携を密にし、工夫しながら体力の向上に取り組むことができた。	マイスクールスポーツの一輪車活動はできる形で継続していく。6年間を系統立てた体育の授業実践を継続していく。持久力・柔軟性を高める運動をさらに充実させていく。